

協働テーマ

『子供の事故情報データベース』を活用し、
子供に安全安心な製品・サービスの開発・改良の好事例を創出したい！

■ 現場課題

課題詳細

- 子供の事故情報データベース（令和7年3月公開）の情報・データを活用した、子供にとって安全安心な製品・サービスを創出したい
- こうした具体的な活用事例をモデルケースとして発信していくことで、本データベースの活用促進につなげていく

課題解決による
想定成果・効果

子供の安全安心につながる質の高いサービスを開発し、データベースの活用事例として周知を図っていくことにより、事故予防に対する保護者等の理解促進や、意識・行動変容につなげる

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

データベースに掲載されている事故情報に基づき、子供の視界で事故の危険を探索しながら学ぶ3D安全教育コンテンツ『子供の目線で危険をハント 事故予防体験シミュレーター』を開発する

協働
プロジェクト
内容

- データベースの事故情報（事故の状況や要因等）に基づき、事故につながる“危険”が潜む3つのステージ（リビング・キッチン・屋外）を3Dモデルで構築
- 各ステージを探索する際の視界について、専門家の監修のもと、6歳までの子供の視力や視野角等を再現
- ユーザーの取組意欲や意識変容の一助となるよう、ゲーミフィケーション要素であるスコアリング機能を実装

成果

- コンテンツ体験者を対象としたアンケートの結果において、子供の視界についての理解や事故予防への取組意欲が促進されたかどうか等に関する回答が5段階評価中4.43点となるなど、高い評価を得た
- こうした結果からも、子供の事故予防に対する理解促進や意識・行動変容の契機になり得るサービスの開発事例を創出できたものとする

